



外観

ライフスタイルに より調和する家具を

(株)河口家具製作所

代表取締役社長 河口 健 さん

(株)河口家具製作所は創業55周年になる。安定した会社運営を続けている、社長の河口健さんにお話を伺った。とても気さくな方である。

河口家具製作所の特長は、変動するライフスタイルに機敏に対応する家具づくりを目指していることだ。

製品開発は社長を含む4人で行っている。そのうち3人はなんとデザイナー兼営業マン。「営業先のさまざまな意見やエンドユーザーのトレンドを吸収し、ダイレクトに発想・デザインに活かせるので、エンドユーザーの期待する、個性的な製品づくりが可能に

なっている」そうだ。

たとえば、今年の新春展では、リニアモーターを採用した自動ドアシステムの家具を発表している。わずかな力でスムーズな開け閉めが可能だ。静かで安全。現在特許申請中のシステムだ。今、人気を博しているそうだ。

また、河口家具製作所は日本で初めて、モイス(MOISS)を家具に採用した企業としても知られている。モイスとはなんだろうか。それは、「古来からの天然の素材『土壁・木』の自然力を手本として開発された新しい建築資材のことです。セラミックであ

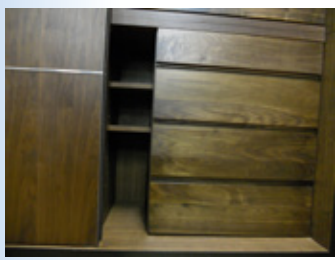




リニアモーター
搭載の自動ドア
システム

りながら木材のようでありながら、また土壁の機能を併せ持った建材です。」大きな特長として、調湿性、抗かび性、ビスの高い保持能力、優れた加工性、曲げ性能、TVOOC（総揮発性有機化合物）の吸着・無害化、資源循環型、といった点が挙げられるそうだ。

河口家具製作所では、モイスを家具に組み入れるため、半年間、実験を重ねたそうだ。こうしてキッチンボードの天



板に採用できた。スチームレンジや炊飯器を置いても全く問題がない。

他に、ヨーロッパのトレンドカラーである、マットブラック塗装の家具をいち早く採用。「光沢を出す塗装とは違って表面に細かな凹凸をつける塗料を使用します。この凹凸が光を拡散させ、艶を消したような独特の重量感を醸し出しています。」日本古来からの水屋の雰囲気もある。

さて、河口家具製作所の特長のもう一つは、すべてのパーツを自社生産でまかなうこと。外注に依頼することは少ない。このような企業は希少な存在といえる。「30年以上



モイスを使用したスチームレンジ対応モデル

一貫して行っています。」どんなメリットがあるのだろうか。「会社の技術が外部に流出しないこともありますが、それ以上に会社の技術力が向上してきた点があります。原木から完成品までのノウハウを修練し、蓄積しつづけることができました。」今や高い技術力に裏打ちされた商品が生み出されている。

とはいえ、河口さんは企業間の横の繋がりも大切にしている。プラス・プラスというグループも組んでいるのだ。(株)河口家具製作所、(有)マルヨシ民芸家具、岡家具工業(株)、古賀清木工(株)、(株)野中企画の5社である。それ

ぞれの企業の長所を活かしながら、魅力的な居住空間を演出する、トータル家具づくりを目指している。「これは家具の集積地大川だからできることです。それぞれが持っている知恵を結集すれば素晴らしいものができあがると思っています。」

また、近年ネット販売にも力を入れている。「多くの方に自社製品を見てもらえるからです。売価をさちんと守ってくれる、信頼できるネット販売企業数社にゆた

ねています。リアル店舗との相乗効果を期待しています。」Yahoo!ショッピングやアマゾンなどで見ることができると。

夢は何だろうか。「自社製品が、居心地のよいライフスタイルにより調和できるように製品開発を続けることですね。開発を怠らず、ユーザーに喜んでもらいたいとの一心で頑張っていきたいですね。そしてそれがES、つまり従業員の幸福に繋がってほしい」と願っています。」



マットブラック塗装を採用した江 (GOU)